



大 幼



令和4年度

園長だより No.6

令和4年10月6日

あいさつの声が…

子どもは、うらやましいくらい自然体です。ですから、朝のあいさつは、その時の気持ちに左右されます。それがいいのだと思います。そこが子どもの魅力で、私はそのエネルギーをもらって、毎日元気に過ごしています。

最近は、全体的に挨拶の声にハリが出てきて、成長を感じています。幼少期の子どもにとって、挨拶は高度なコミュニケーションなのでしょう。先日、挨拶が初めてできたお子さんが、あいさつ後に「できたー」と小さくつぶやきました。

大きな一歩をいつもの一歩にするため、明日も一言を。



運動会に向けての〇〇！

附属幼稚園の運動会に向けてのコンセプトは、日頃の「遊び」の発展上にあることや、自ら取り組むエネルギーを育てることにあります。しかしながら、多くの方に観ていただくとなるといつい言いたいことが増えてしまいます。

ある日の「運動会遊び」が終わった時、「この後は『好きな遊び』にします。」と言った途端、「ヤッター」と大きな声が聞こえてきました。

子どもは、ちゃんと遊びの質を使い分けているようです。

たくさんの支えの中での運動会



附属幼稚園では、多くの保護者の方が行事を支えてくれています。執行部の皆さんや各学年部の役員さんを始め、くすのき会・サークル活動の皆さん等少しでも子どもたちが楽しめる事を願って知恵を絞ってくれています。おかげさまで、彩り豊かな運動会を迎えられそうで、今からワクワク・ドキドキしているのは、子どもばかりではなくなっています。

今年の園経営の特徴として「ともに」という言葉を頻りに使っています。この言葉は、自らが主体的に楽しめる道標だと考えています。保育を楽しむ、子育てを楽しむ、遊びを楽しむ・・・人といっしょに楽しめる環境にしていくことが、よりよい「そだち」を創っていくことにも繋がります。

運動会の中で、子どもたちは、失敗や予想していない出来事に会おうかもしれませんが。そんな時には、ひときわ大きな拍手で温かく包み込んでいただきたいと思います。